

平成26年度

”十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間” 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート	報告者:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告年月日:2015/3/31
--------------------------------	---------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H26					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	連携・体験事業	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト事業	シーニックバイウェイ & ガーデン街道 美しい北海道景観を育てる会	平成26年4月～平成27年3月	主催者:60名程度	—	北海道ガーデン街道、十勝シーニックバイウェイ3ルート、大雪・富良野ルートの連携で次世代に良い景観を継承していくための植樹や景観保全の連携事業を実施。民間企業との連携にも繋がり、今後も継続して実施していく予定である。
地域	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	連携・体験事業	—	—	—	—	—	—
		発信事業・プロモーション事業	—	—	—	—	—	
		癒とりフェスタ事業	—	—	—	—	—	
観光	陸・水・空・時の四次元ルートを完成させ、日本で有数の観光客を集客するために、基本となる十勝人の歴史や十勝のスイーツについて学び、ライフコンシェルジュの育成と女性プロジェクトを実践し、ルートの地域資源発掘に力を入れる。そして、これらを基に魅力あるモデルルートを設定し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行う。更に、地域住民と観光客との双方向コミュニケーションを充実させていく。	連携・体験事業	—	—	—	—	—	—
		発信事業・プロモーション事業	プロモーション活動・YOSAKOIソーラン祭り・北海道新聞花火大会・十勝毎日新聞花火大会・北海道ハイウェイ Show	YOSAKOIソーラン祭り組織委員会、北海道新聞社、十勝毎日新聞社、NEXCO東日本	—	一般:各イベント500人以上 ルート:10人程度(各イベントでPR)	—	今年度は十勝管内の他、札幌圏でもオール十勝の観光PRを積極的に行った。各イベントで好評だったことから、引き続き続けていく予定である。
		トカプチ情報ボックス事業	トカプチ雄大空間	平成26年4月～9月	エリア内17拠点	A — 4	トカプチ雄大空間エリア内の観光拠点にPRのため設置している「トカプチ情報ボックス(観光パンフレット設置ラック)」にルート内施設の観光パンフレットなどを期間中6回配布を行った。主に観光施設に設置しており、お客様からの需要も高いので、今後も実施していく予定である。	
		トカプチマップ事業	トカプチ雄大空間	平成27年3月発行	主催者:5名程度	A — 3	今年度は、エリア内の各自治体の協力も頂き、2万部を印刷。エリア内、札幌市内を中心に配布予定。観光客からの地図の需要は高いので、プロモーションと合わせて今後も続けていく予定である。	
		人材育成事業	ライフコンシェルジュ育成事業 ※派遣イベントは下記の通り	トカプチ雄大空間	平成25年4月末～10月末	ライフコンシェルジュ(登録人数:55人)	A — 2	十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」の育成事業の今年の大きな動きとして、十勝川温泉旅館組合の依頼より、期間中の土曜・日曜(10時～15時)に十勝ヶ丘展望台に2名52回の派遣を行い、大きな実績となった。その他、3つのガイド活動についてライフコンシェルジュの派遣を行うなど積極的に活動を実施した。今後は、この活動実績を活かし、ビジネス化に向けた事業として実施できるように検討していく。
			①十勝ヶ丘展望台ライフコンシェルジュ派遣事業	トカプチ雄大空間	平成26年4月26日～10月26日	ライフコンシェルジュ延103人を派遣		
	②帯広駅エスタ帯広東館1階西口観光ガイド	トカプチ雄大空間	平成26年6月1日～8月31日	ライフコンシェルジュ延27人派遣				

			③とちまちマルシェ・十勝観光案内所(ライフコンシェルジュ協力)	とちまちマルシェ実行委員会	平成26年9月6日(土)～9月7日(日)	ライフコンシェルジュ延11名派遣		
			④帯広市高齢者学級バス学習(ライフコンシェルジュ協力)	帯広市	平成26年8月8日(金)・20日(水)	ライフコンシェルジュ延4名派遣		
		販売促進事業	とちまちガーデン・スイツ・温泉チケット	トカプチ雄大空間	平成26年4月26日(土)～10月13日(祝)	主催者:10名程度	A — 1	観光施設、市内ホテル、観光案内所等70箇所でチケットの委託販売を実施した。平成26年度は、利用施設を十勝全域に拡大した結果、旅行代理店の取り扱いが及び販売枚数は昨年の約2倍となった。今後も定期的な収入になるよう、チケットの販売先を広げていく予定である。
環境	エコに関する啓蒙の推進、ゴミの削減による環境美化、カーボンオフセットの推進による環境の改善など、環境モデル都市・エリア実践のための連携を強化し、環境に関わる新産業による就業人口や移住・定住人口の増加を目指す。	連携・体験事業	—	—	—	—	—	—

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：とちちガーデン・スイーツ・温泉チケット事業

【概要】 今年度で5年目の事業となる十勝の施設をお得にめぐる「とちちガーデン・スイーツ・温泉チケット」（1,400円）を販売した。観光施設やビジネスホテルなど、道内70か所に販売箇所を拡大し、相互の施設においてPR活動を実施するほか、専用ホームページを作成し、積極的にPRを行った。

また、今年度は対応施設エリアを十勝全域に拡大した結果、旅行エージェントの旅行商品に組み込まれるなど販売促進につながり、販売枚数も昨年度の約2倍となった。今後も関係施設や旅行エージェントに売り込みを行って定期的な収入になるよう、販売先を広げていく。

【実施期間】 平成26年4月26日（土）～10月13日（祝）

※販売期間 平成26年4月21日（月）～10月13日（祝）

【対応施設エリア】 十勝シーニックバイウェイエリア

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【販売枚数】 3,952枚（利用率90.2%）

チラシ(表)



(裏)



●チケット概要

ガーデン施設入園・スイーツ引替・温泉日帰り入浴が選べる共通チケット3枚+ばんえい十勝無料クーポンがついたお得なチケット。

●チケット対応施設

【ばんえい競馬】 ばんえい十勝(帯広競馬場)

【ガーデン施設】 十勝千年の森・真鍋庭園・十勝ヒルズ・紫竹ガーデン

【スイーツ施設】 道の駅ステラ★ほんべつ・十勝まきばの家・ふるさといけだ(池田ワイン城内)・とちち物産センター・十勝トテポ工房・和食と焼肉すず喜・国民宿舎新嵐山荘・NEEDS・岡本農園・十勝野フロマージュ・道の駅さらべつピボバ・大森カントリーガーデン・手創り菓子工房いまむら

【温泉施設】 糠平館観光ホテル・然別湖畔温泉ホテル風水・十勝川温泉(笹井ホテル・観月苑・ホテル大平原・第一ホテル)・晩成温泉

【その他施設】 カントリーホーム風景、大草原の小さな家、焼肉KAGURA、とちちむら産直市場、北の屋台、猫カフェWish、八千代牧場カウベルハウス

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：ライフコンシェルジュ育成事業

【概要】 十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」の育成事業の主な動きとして、十勝川温泉にある「十勝が丘展望台のシーニックカフェ」に103名の派遣を行い、十勝の観光情報を伝える活動を行った。その他、昨年度に続き帯広駅構内に派遣を行い観光案内ガイドとして活躍するなど積極的に十勝の観光情報を伝える活動を実施した。また、ライフコンシェルジュを紹介するチラシの作成や十勝の観光文化検定試験合格者への案内を行った結果、登録人数も昨年度より約20名増え、体制も強化されたことから、今後は、活動実績を活かし、ビジネスモデル化を目指す。

【活動期間】 平成26年4月～10月末

【場所】 十勝管内にて活動を実施

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【登録人数】 ライフコンシェルジュ：55名 派遣先は以下のとおり

- ①十勝が丘展望台シーニックカフェ（計53回 103名） / ②帯広駅エスタ帯広東館1階西口（計27回 27名）
③帯広市高齢者バス学習（計3回 6名） / ④とちマルシェ・十勝観光案内所（計2回 11名）



とちマルシェでのガイド



ライフコンシェルジュ紹介チラシ

LIFE+CONCIERGE
十勝の魅力・生活の楽しみ方を伝える人

ご当地風土アドバイザー

地元の豊かさを自ら感じ楽しむ

地元的生活スタイルを伝える

親まれ親身になれる人間性

ひと=癒し

ライフコンシェルジュとは

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチマップ事業

【概要】昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートの紹介や観光PRを含めたマップを作成した。今年度は更なる魅力発信のため、名称のみを記載していた「おすすめ景観」箇所に写真を掲載した。今後は観光拠点を中心に配布を行う。観光客からのマップの需要は高いことから、今後も観光プロモーションと合わせて継続する。

【発行】平成27年3月

【主催】十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【マップ仕様】印刷部数：20,000部 サイズ：B1（折りたたんでB5）

配布箇所：ルート団体施設ほかエリア内の観光施設、札幌市内など



<トカプチ雄大空間ルートMAP 抜粋>

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチ情報ボックス事業

【概要】

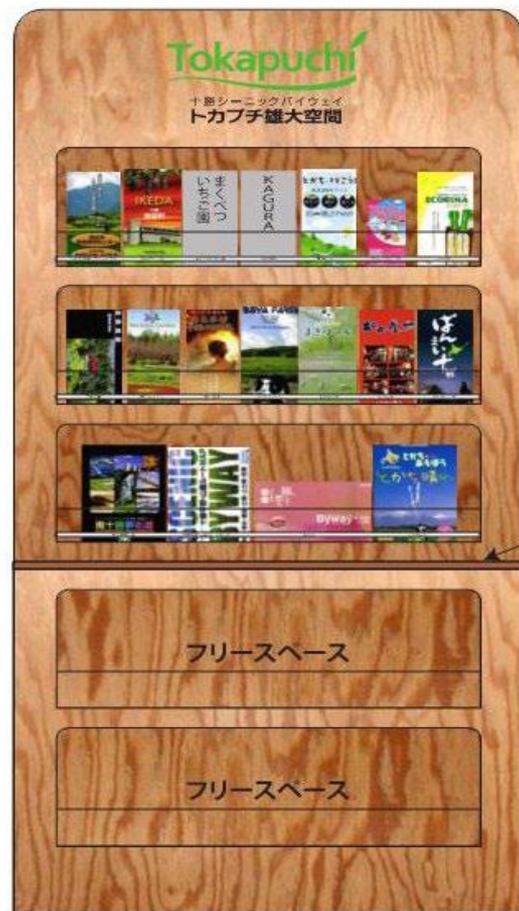
トカプチ雄大空間エリア内の各情報拠点に設置している「トカプチ情報ボックス」にルート内施設の観光パンフレットなどを設置している。

主に観光施設に設置しており、お客様の要望も高いことから、今後も実施をしていく。

【実施時期】平成26年4月～9月

【設置箇所】18カ所

【配達回数】6回



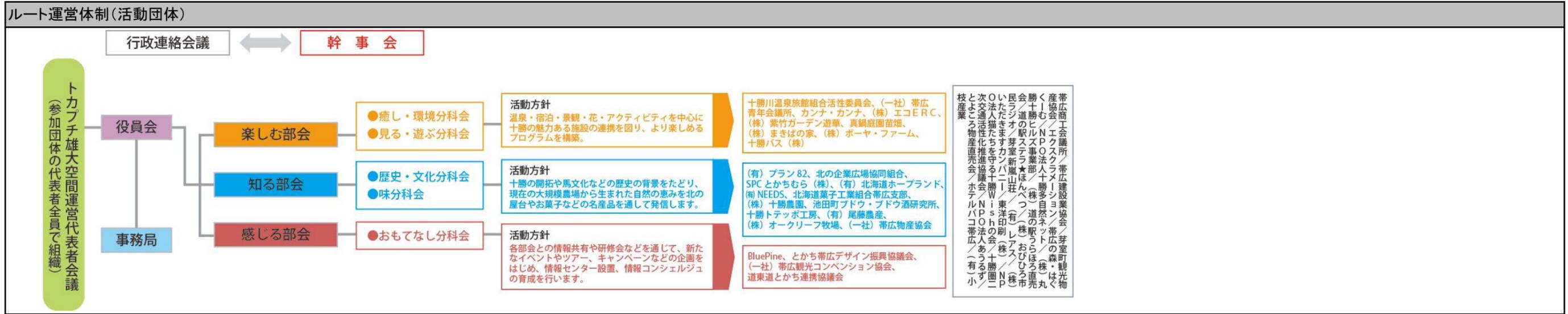
<トカプチ情報ボックス>

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾	報告年月: 2015/3/31
------------------------------	-------------------------------------	-----------------

活動団体

十勝バス(株)、紫竹ガーデン遊華、真鍋庭園苗畑、北の起業広場協同組合、(有)プラン82、BluePine、とかち帯広デザイン振興協議会、帯広建設業協会(広報情報化推進委員会)、カンナ、カンナ、NPO法人十勝多自然ネット、エクスクラメーション、帯広の森・はぐくむ、北海道菓子工業組合帯広支部、(一社)帯広観光コンベンション協会、池田町ブドウ・ブドウ酒研究所、十勝川温泉旅館組合活性化委員会、道東道とかち連携協議会、芽室町観光物産協会、帯広物産協会、(株)北海道ホープランド、(株)まきばの家、(有)ポーヤ・ファーム、(一社)帯広青年会議所、帯広商工会議所、(株)オークリーフ牧場、(有)尾藤農産、(株)エコERC、おびひろ市民ラジオ (FM-WING)、(株)丸勝十勝ヒルズ事業部、SPCとかちむら、芽室町新嵐山荘、ステラ★ほんべつ道の駅、(株)道の駅うらほろ直売会、(有)レアス、NPO法人あうるず、十勝トテッポ工房、(有)NEEDS、十勝農園、いただきますカンパニー、東洋印刷(株)、NPO法人猫たちを守る十勝Wishの会、十勝圏二次交通活性化推進協議会、とよこ物産直売会、ホテルパコ帯広、(有)小枝産業



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議	● 4/22												
事務局・幹事会 打合せ	原則、毎週水曜日に代表・事務局会議開催。(必要であれば月曜日および金曜日も開催。) 4月～3月まで 回開催。												
部会・役員会	●4/15 役員会										●2/20 役員会	●3/19 役員会	
十勝SBW連絡会議										● 1/26			

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者: 帯広開発建設部	報告年月: 2015/3/31
------------------------------	--------------	-----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実施			● 6/6			● 9/18							

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2015/3/31
-----------------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成26年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	平成26年4月～平成27年3月	自治体 商工会 帯広開発建設部	植樹における植樹箇所及び道路占用許可申請の調整等を行った。また、植樹希望箇所は国道以外の場合もあることから、関係自治体等と連携して進めていく必要がある。	行政機関とルートが連携した取組を行うことにより効果がよりいっそう高くなっている。今後も行政とルートとの連携を強化しPRのため広域での取組を行っていく必要がある。	
観光	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	十勝シーニックバイウェイPR活動	平成26年7月～10月	帯広開発建設部	帯広空港ターミナルビル株式会社の協力を得て、十勝シーニックバイウェイの紹介、説明などのPRパネルの展示を行った。空港での開催であるため、道外からの観光客が多く、十勝の魅力を発信する機会となった。また、今年度は帯広河川事務所札内川ダム管理支所においてもパネルの展示を行い十勝SBWの周知を行った。今後もイベント等でのPR活動を積極的に行っていく。		